

報道関係者各位

2013年2月13日
野村不動産株式会社

『プロウドBOX 感謝祭』東京国際フォーラムにて2/10、11開催 ～オーナー様やプロウドクラブ会員等が約1.6万人参加～

野村不動産株式会社(本社:東京都新宿区/取締役社長:中井 加明三)は、住宅ブランドの冠名称を『プロウド』に統一し、2003年に第1号物件として「プロウド久我山(東京都杉並区)」の販売を開始以来、今年で10年を迎えます。

このたび、日頃の感謝の気持ちを込めまして、2月10日、11日の2日間限定で有楽町の東京国際フォーラムにおいて『プロウドBOX 感謝祭』を開催いたしましたので、お知らせいたします。

この感謝祭は、当社分譲住宅を購入いただいたオーナー様やこれから購入を検討する「プロウドクラブ会員」、そしてプロウドの発展に支援くださった方々を対象に、多くのイベントを通じて交流しながら、「つながり」を深め、感謝することを目的としております。当社として、このような大規模な感謝祭イベントを実施するのは、初めてとなります。会場では、オーナー様限定の会員サービスの紹介から、リフォームや買い替えのご案内ブース、そして著名なゲストによるトークショー、暮らしに役立つセミナーや、エコの体験・体感コーナーを通じたプロウドの最新商品・企画のご案内、さらにお子様向けの数々のワークショップ等、盛りだくさんのイベントを実施し、2日間で約1.6万人の来場をいただきました。

また、被災地支援の一環として、日本女子大学住居学科の篠原聡子教授と共同で、現在被災地の仮設住宅内で重要性が高まりつつある「コミュニティ」について活性化させることを目的とした、ベンチやテーブルなどを製作し、会場に展示いたしました。日本の伝統製品「枺」を組み合わせることで製作したこのベンチやテーブルは、岩手県大槌町の仮設住宅へ展示終了後、寄贈いたします。

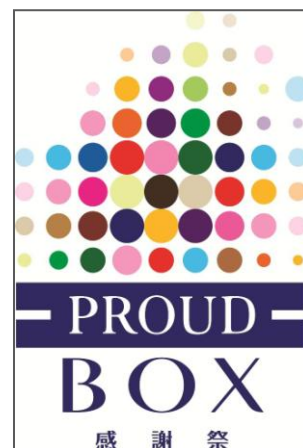
当社は、今後も野村不動産グループの総合力を発揮しながら、お客様の期待と信頼に応える「住まいのナンバー1 ブランド」を目指し、ビジネスを通して社会へ貢献できる企業として、一層努力を続けてまいります。

(参考)

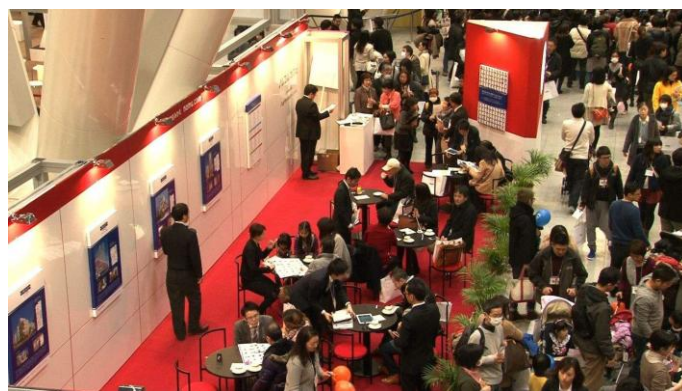
【10年間の「プロウド」の実績(全国)】(平成25年1月末現在)

○供給数:524物件、約40,000戸

○プロウドクラブ会員数:約27万人

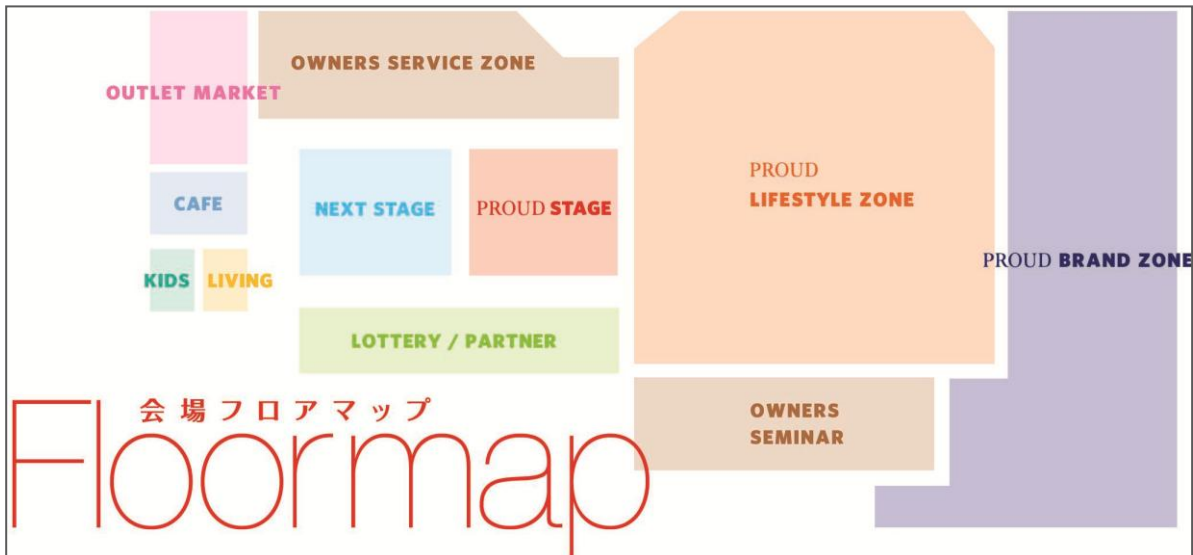


【会場の風景】



【プライドBOX感謝祭について】

会場の東京国際フォーラム 地下2階展示ホール(約 5000 m²)を、大きく6つのゾーンに分けて、各イベントを開催



<主なゾーンでのイベント紹介>

●「プライド」ブランドゾーン

野村不動産が分譲住宅の販売を開始してから約 50 年間の分譲の軌跡、過去のプライドTVCM集、プライドオリジナル短編アニメの上映、プライドを作り上げるための様々な社員の役割にフォーカスしたドキュメント映像などを展示、上映

●「プライド」ライフスタイルゾーン

「スマート」や「シェア」をキーワードにした一歩先の暮らしの体感ゾーン。普段見ることのできないプライドのスマートエネルギーシステムや最先端技術をいかした新しいエコスタイル展示。また、スペシャリスト(靴磨き、ハンドケアなど)たちによる究極のサービスを会場内で無料体験

●オーナーズサービス(セミナー)ゾーン

プライドオーナー限定のリフォーム相談、住み替え相談など住まいに関する相談会や、住まいの整理・収納術、インテリア等のセミナーを開催

●「プライド」ステージゾーン

著名ゲストによる自分らしさを追求するライフスタイルに関するトークショーを開催

●「プライド」マーケットゾーン

モデルルームに展示していた高級家具や小物などを販売



<「プライド」ブランドゾーンでの様子>



<セミナー会場でのインテリアセミナーの様子>

【その他支援活動】

＜被災地支援＞

当社では、日本女子大学篠原研究室との共同研究により「マンション内の良好なコミュニティのための空間づくりの手法」を開発いたしました。現在、被災地の仮設住宅では住民同士のコミュニティ活性化が課題の一つとなっていますが、マンションのために開発したこの手法は、仮設住宅でのコミュニティ活性化にも寄与できるのではないかとということで、手法のいくつかを仮設住宅に設置するプロジェクトを発足いたしました。

会場内には、立ち話のきっかけになる『ちょっとテーブル』や場所への愛着を育む『お気に入りのイス』といったコミュニティ手法を、随所に再現しました。いずれも、日本の伝統製品「枧」を組み合わせて制作したもので、どこでも入手できる素材であり、屋外でも使用でき、メンテナンス性も考慮しております。

感謝祭での展示終了後、岩手県の被災地の仮設住宅に設置いたします。

篠原聡子

空間研究所代表、日本女子大学住居学科教授。

『マンションコミュニティのためのデザイン手法 100』は、同大学篠原研究室と野村不動産との共同プロジェクトで、2011年グッドデザイン賞を受賞



＜使用した枧＞



＜枧で製作したテーブルやベンチ＞

本件に関するお問い合わせ窓口
野村不動産株式会社 広報部(柿原・阿部)
TEL03-3348-7805・FAX03-3343-0445